

# 小中学生の ICT スキル 1

## —スマートフォン所有率上昇とオンライン授業の経験—

近藤 勢津子\*、水野 一成\*

Setsuko KONDO\*、Kazunari MIZUNO\*

NTT ドコモ モバイル社会研究所\*

NTT DOCOMO Mobile Society Research Institute\*

**要約：**小中学生ではスマートフォンの所有率が上昇し、GIGAスクール構想及びコロナ禍における休講等による家庭におけるオンライン学習の経験が増えたことも合わさって、ICTスキルが上昇。2021年に実施した調査では、前年と比較し特に「パソコンでの文字入力」ができる割合が大きく上昇した。本研究ではオンライン授業の経験とパソコンでの文字入力ができるかに注目し分析した。その結果、オンライン授業経験者は有意にパソコン入力ができる割合が高く、特に小学生低学年でその傾向が強く見られた。

**キーワード：** ICTスキル、量的研究、スマートフォン、オンライン授業、小中学生

### 1. 研究の背景

モバイル社会研究所は2018年から、子ども（調査対象は小学生、中学生とその親）が安心・安全にICT(Information and communication Technology)を利活用するため、またICTと特色を生かした教育を探るため、毎年社会調査を実施している。その調査結果において、小中学生のスマートフォン（以下、スマホ）の所有率は上昇傾向にある。2021年10月の調査結果では、小学生低学年で15%、高学年は33%、中学生では79%が所有しており（図1）、いずれも前年の調査結果を上回った。特に、調査開始以来初めて、小学生低学年は子ども向けケータイ（キッズケータイ）の所有をスマホが上回った。

また、2021年はGIGAスクール構想により、学校からのタブレット・パソコンの貸与も大きく伸びた。いずれの学年も前年は10%未満であったが、2021年では50%を超えた（図2）。また、コロナ禍の影響で家庭でのオンライン授業も行われ、実施率は小学生低学年で49%、小学生高学年は58%、中学生は65%であった。このように小中学生を取り巻くICTの環境が大きく変わる中、ICTスキルはどのように変わってきたか、本稿では2020年と2021年調査を比較しながら分析していく。

### 2. 調査概要

実査時期：2022年10月

調査方法：訪問留置法 サンプル数：500

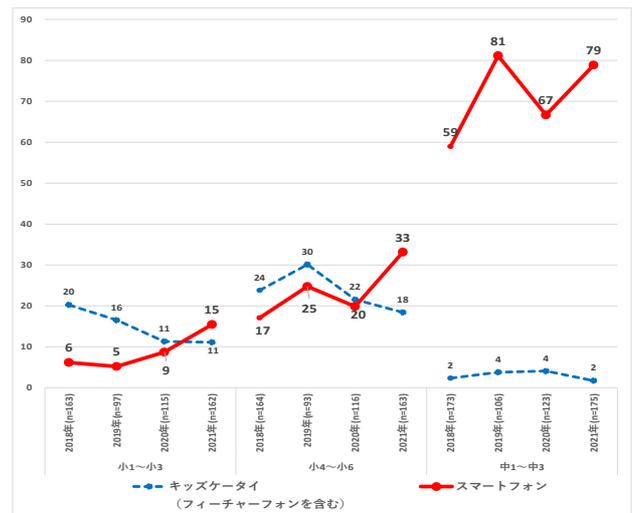


図1 小中学生の携帯電話所有率

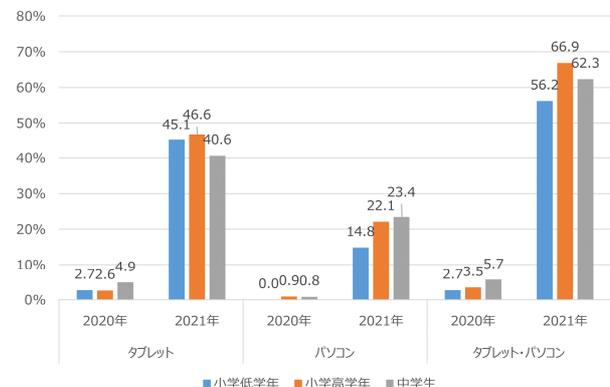


図2 小中学生 学校から貸与されたタブレット・パソコン

調査エリア：関東1都6県

調査対象：小中学生とその親

割付：(住民基本台帳に基づく) 学年・性・都市規模

### 3.結果・考察

ICTスキルについては、表1の通り6つの項目で聞いていた。なお、回答は親に対しては、子ができるか、子に対しては自身ができるか聞いている。

表1 ICTスキル 評価項目

- ・スマホ・ケータイで文字入力ができる  
(親には) 10秒で5文字以上と条件付き
- ・パソコンで文字入力ができる  
(親には) 10秒で5文字以上と条件付き
- ・LINEやツイッター、インスタグラムなどで見せたい人だけに情報を送ることができる
- ・スマホやタブレットを他の人が使えないように設定できる
- ・自分や自分たちで作ったブログや動画などをインターネットで共有できる
- ・プログラミングをして、アプリやシステムをつくれる

多くの項目、学年で前年を上回った。また学年が上がるほど、できる割合が高い傾向は変わらない。特に図3で示した「パソコンの文字入力」の伸びは大きい。全体的に親の回答より、子の回答の方が高い傾向が見られた。これは、①子は質問文に対して、一部スキルを高く評価し回答②親は子がどこまで出来るかを過少評価した可能性があるのではないかと。

次に伸びが最も高い「パソコンの文字入力」について、「オンライン授業」の実施有無での影響を確認した。図4の通り、いずれの学年もオンライン授業経験者の方がパソコンの文字入力スキルが高い結果であった。特に小学生低学年では、その差が大きく1%有意水準であった。なお新学習指導要領(小学生は令和2年から施行)では、「小学校で文字入力を基本的な操作として習得すること」と記載されている。文字入力スキルは、各種教科での活用、或いはプログラミング教育の基礎としても重要である。

### 4.まとめ

多くの項目でICTスキルの上昇が確認され、特にパソコンの文字入力スキルの上昇が大きく、オンライン授業との関連が示唆された。学校でのタブレット・パソコン利用が活発になったことと合わせ、家庭での利用も活発になったこと、全体的なスキル向上につなが

っているのではないかと。

今後は、学校でのICT活用とスキルを経年で調査するとともに、早くからICTスキルが身に着いた子がどのような影響を受けるか、調査を通じて分析していく。なお、ICTスキルが高い子の特性については「小中学生のICTスキル2」で報告する。

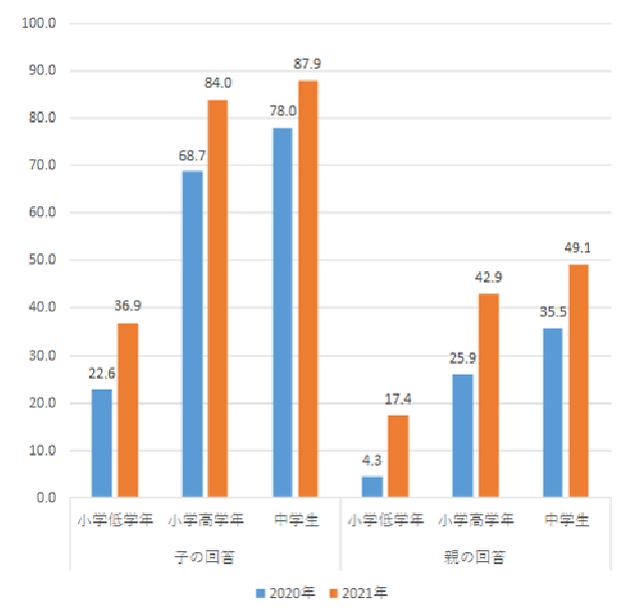


図3 小中学生 パソコンの文字入力

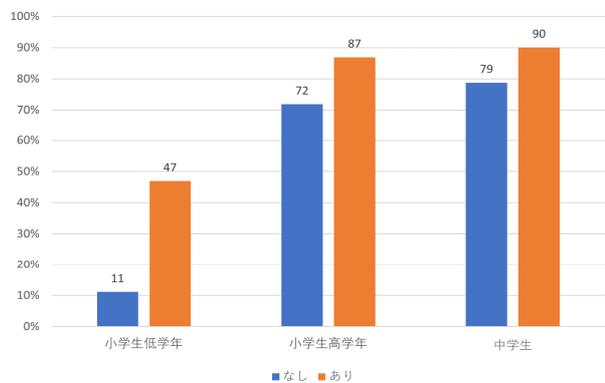


図4 パソコンでの文字入力オンライン授業実施別 (親の回答)

### 参考文献

- (1) NTTドコモ モバイル社会研究所ホームページ (2022.6)<https://www.moba-ken.jp/project/children/kodomo20220609.html>
- (2) 「GIGAスクール構想の実現」と新学習指導要領における情報教育について 文部科学省ホームページ(2020.11) [https://www.caa.go.jp/policies/council/cepc/meeting\\_materials\\_4/assets/meeting\\_materials\\_4\\_201127\\_0005.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/council/cepc/meeting_materials_4/assets/meeting_materials_4_201127_0005.pdf)